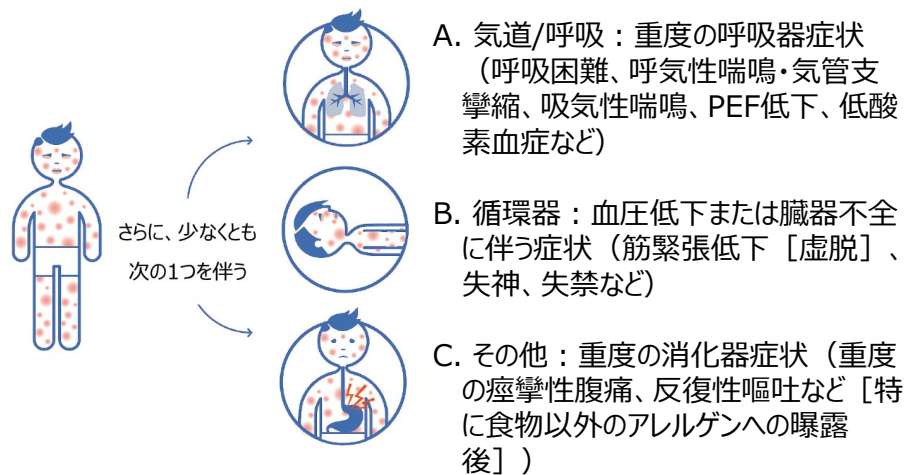


## ■ 診断基準

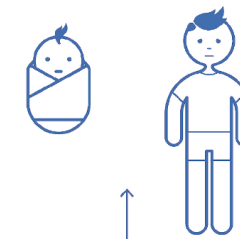
以下の2つの基準のいずれかを満たす場合、アナフィラキシーである可能性が非常に高い。

1. 皮膚、粘膜、またはその両方の症状（全身性の蕁麻疹、掻痒または紅潮、口唇・舌・口蓋垂の腫脹など）が急速に（数分～数時間で）発症した場合。

2. 典型的な皮膚症状を伴わなくても、当該患者にとって既知のアレルゲンまたはアレルゲンの可能性がきわめて高いものに曝露された後、**血圧低下\***または**気管支攣縮**または**喉頭症状#**が急速に（数分～数時間で）発症した場合。



乳幼児・小児：  
収縮期血圧が低い（年齢別の値との比較）、または30%を超える収縮期血圧の低下\*



成人：  
収縮期血圧が90mmHg未満、または本人のベースライン値に比べて30%を超える収縮期血圧の低下

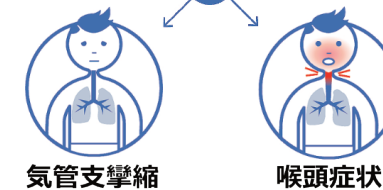


図1

\* 血圧低下は、本人のベースライン値に比べて30%を超える収縮期血圧の低下がみられる場合、または以下の場合と定義する。  
 i 乳児および10歳以下の小児：収縮期血圧が  $(70 + [2 \times \text{年齢(歳)}])$  mmHg未満  
 ii 成人：収縮期血圧が90mmHg未満  
 # 喉頭症状：吸気性喘鳴、変声、嚥下痛など。